

第5次振興計画 将来都市像の見直しについて

1 将来都市像に関する意見

- (1) 将来都市像に関するアンケート結果
 - ◇ 「今後は、現在の状況に合わせた新たな将来都市像で市政を推進すべき。」 49%
 (「今後も現行の将来都市像」 28%)
 - ◇ 「5年後の寒河江市の将来像」については、
 「高齢者が安心して暮らせるまち」(42%)
 「自然や景観を大切に作るまち」(37%)
 「若者が住み、活躍できるまち」(36%)などが上位に。
 - ◇ 寒河江市のイメージアップを図るためにアピールすべきものは、
 「さくらんぼの里」(55%)
 「豊かな農産物」(28%)
 「花と緑のまち」(25%)などが上位に。
- (2) アンケート結果等をふまえた審議会委員の意見
 - ◇ 新しい市長のもと、新しい寒河江市をイメージする言葉で
 - ◇ 人づくりの視点を入れて、これからの若い人、子どもたちの将来が見えてくる言葉を
 - ◇ 子どもからお年寄りまで暮らしやすいまちづくり、暮らしやすさをイメージできる言葉で
 - ◇ 寒河江の特長である「協働」、「ボランティア」を表してきた「気品」の考え方を引き継いで
 - ◇ 他の市町村からも魅力的に映る寒河江市を目指して
 - ◇ 心が通い合う、心を大事にする言葉やロマンを感じさせる言葉で

2 将来都市像に込めたいメッセージ(検討の視点)

- (1) 寒河江の未来が明るく広がるイメージ
- (2) 市民のニーズに応える暮らしやすさの追求
 (市民の暮らし満足度が上がる、市民の住みよさ感が上がる)
- (3) 市内外の人から愛される寒河江、選ばれる寒河江の追求
 (市民の郷土愛を深めるとともに、住む場所として、観光地として寒河江を選ぶ、寒河江産品を選ぶ)
- (4) 寒河江の暮らしやすさも、魅力も、伸ばすのは市民(市民主体のまちづくり)

3 新たな将来都市像案(事務局のたたき台)

「めくくに 夢集い 人輝く 愛ぐみの故郷 寒河江」

- ・夢集い：未来志向かつ交流が進むイメージ
- ・人輝く：人が生き生きと暮らすまち
- ・愛ぐみの故郷：郷土愛に満ちた寒河江、愛される寒河江を目指す。

※参考(検討で用いたキーワード)

- ・みんなで創る：市民の和によって築かれる、市民主体のまちづくり
- ・暮らし輝く：子どもからお年寄りまで、住む人々が生き活きと暮らしやすい
- ・さくらんぼのまち：寒河江の最大の魅力であるさくらんぼを寒河江市の代名詞として使用し、さくらんぼの持つ愛らしさによりイメージ

- ・夢はずみ：明るく躍動する未来へとつなぐまちづくり
- ・地域輝く：アンケートや各地域での話合いを通して、市民の地域愛・郷土愛が感じられることから、各地域がその財産や特性を活かして輝くまちづくり
- ・和みの里：おだやかに(安全・安心)に暮らせるまちづくり